



菩提樹

佛さまに育てられる年輪



編集・発行
正法寺

山口市江崎2710

TEL
083-989-2213

FAX
083-989-5339

第23号 令和7年4月発行



昨年は、正法寺仏教婦人会が結成されてちょうど二〇〇周年を迎えた年でした。昨年の11月9日に結成二〇〇周年記念大会が開催され、これまでの多くの先輩方の尊い思いを現会員の方々が大切に受け止め、その思いを次代に向かって繋いでゆけるような、ありがたくあたたかい縁となりました。

正法寺仏教婦人会は、今から二〇年前の大正13年4月に結成されました。結成当時、正法寺には住職がおらず、寺族は、坊守とその幼い娘(後の第17世坊守)の二人だけだったといえます。仏教婦人会の結成とその活動は、住職不在の正法寺を支え、戦争や大火災に見舞われた昭和の時代、人々の価値観が大きく変化していった平成・令和の時代と二〇〇年にもわたって、正法寺の法灯が脈々と受け継がれていく上で欠かすことのできない大きな力となっていたのでした。

浄土真宗のお寺は、男女老若関係なく、誰もが集えるところに大きな特徴があります。仏教寺院によっては、女性禁制であったり、修行に耐えられない老人や子どもは入ることが出来なかったりするところもあるのです。しかし、阿彌陀如来のお慈悲は、人を選ぶことはありません。男女老若、それぞれの人生に、お慈悲は満ち満ちてくださっているのです。

浄土真宗のお寺は、どんな立場の人にも阿彌陀如来のお慈悲が響き、生老病死に代表される人間苦を越えてゆける道が恵まれていく、そんな場所であればなりません。これまで、多くの方が、正法寺の様々な活動がご縁となり、自身自身の思いのままにならない人生を、そのままありがたいものとして合掌し、喜んでゆける世界に生きてこられました。そんな先人の方の尊い後ろ姿に育てられた御門徒の方も多くおられることと思います。

浄土真宗寺院の繁盛は、一人でも多くのお念仏を喜べる仲間が増えていくことです。それぞれが、一緒にお念仏を喜べる仲間を一人誘って、今年もお寺でお慈悲を味わうありがたい時を過ごさせていただきますように。

(正法寺住職)

令和		平成										昭和										大正									
6年	27年	26年	21年	19年	17年	16年		15年	7年	4年	62年	58年	57年	53年		49年	46年	45年	44年	41年	39年	37年	36年	35年	34年	31年	24年	22年	10年	13年	
正法寺・仏教婦人会の出来事 (大正10年第16世眞城厚津住職往生後、無住職時代) 4月 正法寺仏教婦人会結成「初代会長 眞城ヌイ」名古屋開善師(山口市正善寺)の発起・御尽力により発会【目的】婦人の地位・教養の向上、宗教的信念確立のため 第17世眞城正彦住職継職慶讃法要厳修 盆踊り大会始まる(〜平成13年) 蓮如上人四五〇回大遠忌法要 12月20日 正法寺焼失(山門屏を残すのみとなる) 1月 本堂起工 12月 本堂落成 7月 仏教婦人会会旗購入 降誕会に初参式を行うこととなる(〜現在に至る) 3月 若婦人部『やよい会』発足(〜平成19年) 11月 第17世住職 眞城正彦住職様ご往生 4月 宗祖七〇〇回大遠忌並びに本堂落慶法要 5月 坊守 眞城ヌイ様ご往生 正法寺敬老会始まる(〜平成22年) 正法寺成人式始まる(〜現在に至る) 5月 親鸞聖人御誕生八〇〇年・立教開宗七五〇年 正法寺第18世住職継職慶讃法要 5月 仏教婦人会結成五〇周年記念大会 記念特別報謝 新住職七条要良・お内陣仏具 本金打敷四枚・夏打敷四枚報謝 山陽莊重度身障児おむつたたみ奉仕始まる(〜H19年2月) ご巡教を記念してお内陣お荘厳 (金箔塗・彩色 昭和57年9月・58年1月) 2月 本願寺第二十四代即如ご門主 山口南組ご巡教(会所引受) 9月 仏教婦人会結成六〇周年記念大会 4月 花まつりアピール始まる(〜平成24年) 御内陣・外陣見附荘厳 5月 仏教婦人会結成七〇周年記念大会 5月 蓮如上人五〇〇回遠忌・正法寺開基五〇〇回忌 本堂山門瓦葺替・門徒会館落成法要 記念特別報謝 御三尊冬用打敷一式 10月 眞城眞信若院様ご入寺 11月 仏教婦人会結成八〇周年記念大会 7月 第18世坊守 眞城元子様ご往生 12月 第18世住職 眞城瑞洋様ご往生 3月 第17世坊守 眞城文子様ご往生 5月 宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要 正法寺第19世住職継職奉告法要 11月 仏教婦人会結成九〇周年記念大会 記念報謝 お内陣巻障子張替 『基礎からはじめる真宗講座』始まる【仏教婦人会例会】 11月 仏教婦人会結成一〇〇周年記念大会 記念報謝 須弥壇修復 【第3期お内陣お荘厳】 【第2期お内陣お荘厳】																															

正法寺・仏教婦人会の出来事

正法寺仏教婦人会結成一〇〇年の歩み

昭和31年正法寺焼失

本堂再建へ向けて会員立ち上がる！

昭和32年1月3日 托鉢行脚を決意。
1月7日 托鉢行脚実施 延べ1000人参加

12月末の火災後、ご本尊様は、保育園に安置され、保育園が仮本堂となり、そこに会員が集いました。

1〜3月の農閑期に7〜10日間連日のご報謝でした。5、6人ずつ1班になり、親戚縁者を頼りもんに白たすき姿で托鉢に出発しました。20代の私は、子どもを祖父母に預け50〜60代の方と秋穂二島へ歩いて向いました。事前に連絡をしていた親戚の者が近所の家々を案内してくれて、お願いに回りました。防寒具を断ち、重誓偈をおつとめ、恩徳讃を歌い、浄財をお願いしました。

手弁当を持って日かけて回るのですが、迎えてくださる方々が芋のてんぷら等お惣菜まで作ってくださり、「困ったときはお互い様」と温かくお迎えくださり、本当に有り難かったです。

お米をお金に換えて頂ける時代だったので、浄財は、ほとんどがお米でした。俵(60kg)近いお米を皆で分担し、リュックで背負い歩いて帰りました。一番若かったので率先して背負いました。帰路、話を聞いた方が、お米をその場で換金してくださることもありました。仮本堂に戻ると、各方面からお米が集まっていた、役員の方々が取りまとめられました。托鉢が終わった後、各家庭で「日お猪口(盃)一杯のお米を貯め役員さんが集めて回っていました。

ご門徒の皆さんが、本堂再建への志をつに、粉骨碎身のご報謝をされておられました。
(当時20才代会員)

【大火災】



茅を葺き替えたばかりの本堂でした。風の強い日で、小学校まで火の粉が舞いました。遊び場だった境内、石まで焼け焦げていて涙が止まりませんでした。(当時小学3年生)



【年末本堂内陣仏具おみがき奉仕】



【大好評!お弁当作りの様子】



【即如御門主様山口南組ご巡教(会所引受)】(S58.2.3)



【初参式】(S37)



【研修旅行】(R5.11.24)



【若婦人部「やよい会」】



【花まつりアピール】

正法寺仏教婦人会結成100周年記念大会

令和6年11月9日**土**

記念法話
記念コンサート

講師 相愛大学学長 釈徹宗先生
シンガーソングライター 二階堂和美さん



毎月第2・4土曜日
16時～

本堂で練習しています。
一緒に仏さまのお心を歌いませんか？



お楽しみに。

降誕会祝賀会出演!!
令和7年5月18日(日)



是非ご来場ください!

昨年の出演後

第27回 仏教讃歌のつどい
令和7年7月6日(日) 14:00開演
【場所】山口別院

コール芬陀利華



仏教壮年会の会員を随時募集しています。現在、40歳代～80歳代まで幅広い年齢の方が、約50名で活動しています。年6回の夜法座の参詣、年2回の懇親会、年末奉仕作業など、様々なお寺での活動を通じて、一緒に仏様のお心を楽しみ味わっています。

仏教壮年会

第40回正法寺
公開講演会

令和6年9月7日(土)

節目となる第40回の公開講演会が昨年9月7日(土)に開催されました。御講師は、テレビ等のメディアでもお馴染みの評論家で、相愛大学客員教授の宮崎哲弥先生がお越しく下さいました。「現代の苦を溶かす」という演題で講演くださいました。



日曜学校

毎月、第日曜日の午前9時から開校しています。2歳～12歳まで、約30名の子ども達が来校してくれています。保護者の方も一緒に礼拝に参加して下さり、子ども達だけでなく、若い世代の方々の仏縁の場になっています。



毎年、お釈迦様の花まつりが
日曜学校のスタートです。



毎月、扉の開閉や仏の子のちかいなど、様々なお当番があります。



夏休みは、サマースクールも開校します。一日、お寺で楽しく過ごします。



4月～8月までは十二礼、9月～3月までは、正信念仏偈のお勤めをしています。

仏教青年会

長らく保育園の20代の職員で、細々と活動していた仏教青年会ですが、令和6年度から、日曜学校の修了生を中心に、新しい仏教青年会が再スタートしました! 12月30日に中学生から大学生まで12名が集まってくれました。



本堂で、正信念仏偈のお勤めと、住職から短い御法話を聞きました。



最後に、庫裏に移り、懇親会とオセロ大会で盛り上がりました。



年末の奉仕作業をしました。

住職への道

～ 若院日記 ～

この度、お陰様で本山にて得度式を受け、正式に僧侶とさせていただきました。得度式は最終日の夕方に行われますが、その前に京都の桂にある西山別院というお寺で、10日間みっちり研修を受けます。スマホなどの不要物は回収され、天気予報も見られないような、完全なデジタルデトックスの10日間です。ご法事の勤め方、ご葬儀の勤め方、日常のお勤めの勤め方などの実践中心の研修から、親鸞聖人や七高僧がお伝えくださった教えを学ぶ座学中心の研修まで、休む暇も無い濃厚な10日間でした。

10日間の研修はあらかじめ決められた班の中で協力して進めていきます。今回は10人前後の班が6班作られ、朝のお勤めや夕方のお勤め、食事の準備など毎日各班に何かしらの役割が与えられます。ミスがあると指導員の先生に班全体が注意されるので班の中での連帯感には日に強まります。私の班は10人の班でした。私と同じように跡継ぎになる方もいれば、子育てが一段落ついてお得度を受けに来た坊守さんや、現代社会に疲弊しているなかで親鸞聖人の教えに出会い、同じような思いをしている人に仏様のお心を伝えていきたいと熱い思いを持って来られていた一般家庭の方もいらしていました。僧侶になるといつのころか、それに対する思いは様々で、私自身、非常に感化させられたありがたい縁でした。

得度式は、親鸞聖人が夕方の遅い時間にお得度をされた事に由来して、本願寺閉門後の夕方5時から御影堂にて執り行われます。堂内には暗幕が張られ外の光は完全に遮断され、蠟燭の光だけの中で行われます。非常に重々しい空気感の中で、僧侶になるといふことの重大さを感じました。

得度式も終え、正法寺の若院という立場にならせていただきましたが、若院と呼ばれるのにはなかなか慣れません。これまで多くの方々によつて守り継がれてきた正法寺の若院という名に恥じないよう、ご門徒の皆さんのお育ての中で、日々精進していきたいと思っています。改めてこれからもよろしくお願いします。

(釋法響)



ホームページがリニューアルしました！

このたび、正法寺のホームページがリニューアルしました。

デザイン性が向上し、とても見やすくなりました。毎月、正法寺の様々な情報を更新しています。ぜひ一度、ご覧ください。



「山口市正法寺」で検索して下さい。

山口市 正法寺

検索

<http://www.shouhouji.com/>

編集委員

金光 雄一
石田 和代
西村 和久
白井 康子

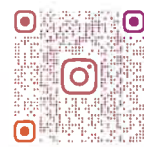


編集後記

今年の編集は、仏教婦人会結成一〇〇周年記念大会が中心となりました。

正法寺の無住職時代や大火災による正法寺焼失時に、お念仏の中で必死に法灯を護つてこられた方々のお姿に、改めて頭の下がる思いがいたしました。

多くの方々の思いが詰まった正法寺で、仏様のお心に出遇える私達は、幸せ者です。これからも、多くの方々に仏縁が恵まれていくよう、御門徒みんなが正法寺を盛り上げていきましょう。

正法寺公式
Instagram始めました！

SHOUHOJI.OFFICIAL

正法寺の何気ない日常を
Instagramで発信しています。
正法寺ホームページからも
ご覧になれます。